

知事コメント

令和2年12月6日(日)

去る11月20日に、年末年始を安全に安心して過ごすための感染対策の第1弾として、12月11日までの集中実施期間を設定し、職場や会食、家庭での感染対策の実施について注意喚起を行っているところです。

これまでに約2週間が経過したところですが、この期間における1週間あたりの新規感染者数は256人から282人に、療養者数は344人から428人になるなど、増加傾向に歯止めがかかっておりません。コロナ病床以外の病床使用率も90%前後で推移しており、医療のひっ迫が懸念される状況が続いています。

これ以上医療をひっ迫させないためには、感染防止対策を徹底して頂くとともに、日頃の健康管理に十分気をつけていただく必要があります。

新型コロナの重症化リスクが高いとされている高齢者への感染拡大も増えてきており、この2週間に確認された70歳以上の高齢者は77名に上ります。そのうち感染経路がわかっている事例の内訳は

病院や高齢者施設内での感染は約44%、家族内における感染は約31%、友人との会食等での感染は約24%となっております。

以上のことから、県民の皆さまには次の2つのことを特にお願いします。

1. 家庭内で高齢者と接する際はマスクを着用する
2. 高齢者ご自身も会食や模合への参加をできるだけ控える

併せて、さらなる感染拡大を防ぐためには、若い方々の協力も不可欠となりますので、感染予防を意識した行動の徹底を心がけていただきたいと思います。

今後、感染状況がさらに悪化する場合には、特に会合・会食に参加する機会の多い世代への外出などの自粛や、営業時間短縮、施設の閉鎖、休業要請などの強い措置を講じなければなりません。

県としましては、医療提供体制を維持するため、病床の確保に全力を挙げて取り組むとともに、検査体制の拡充等に取り組んでまいります。

県民一人ひとりが、そして県内に来訪される方全てが、この状況を共有し、感染対策に協力していただく必要があります。ご理解とご協力をよろしく願います。